

六朝隋唐文史哲論集Ⅱ

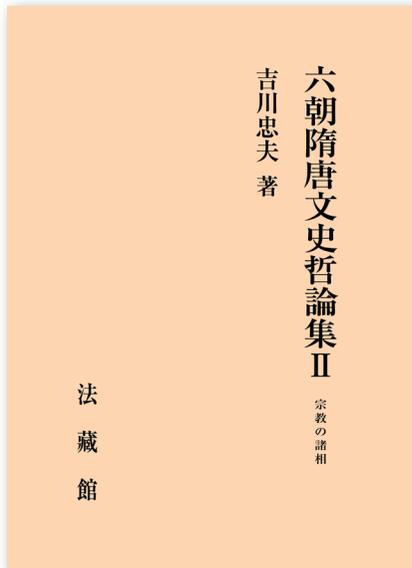
宗教の諸相

よしかわただお
吉川忠夫

〔著〕

A5判・上製函入・六九〇頁・本体一一、五〇〇円＋税

2020年11月刊行



六朝隋唐期の学術史・宗教史研究にひとときわ輝かしい成果を著わしてきた著者がみずから論考を厳選して編んだ待望の論文集。

宗教史を明らかにする一六篇を収録。
※『六朝隋唐文史哲論集Ⅰ』と同時刊行。

〔目次〕

- 一章 中国六朝時代における宗教の問題
- 二章 宗教の時代としての六朝隋唐
- 三章 五岳と祭祀
- 四章 日中無影——戸解仙考——
- 五章 許邁伝
- 六章 仏道論争のなかの陸修静
- 七章 襄陽の道安教団
- 八章 五、六世紀東方沿海地域と仏教
——撰山棲霞寺の歴史によせて——
- 九章 六朝末隋唐初の儒林と仏教
- 十章 隋唐仏教とは何か
- 十一章 唐代巴蜀における仏教と道教
- 十二章 王遠知伝
- 十三章 道教の道系と禪の法系
- 十四章 一日作さざれば一日食らわず
——仏教と労働の問題——
- 十五章 「靈飛散方伝信録」の周辺
- 十六章 裴休伝——唐代の一士大夫と仏教——

後記
索引

【著者略歴】一九三七年、京都市生まれ。京都大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。東海大学文学部専任講師、京都大学教養部助教を経て、京都大学人文科学研究所助教、同教授（一九九一～一九九三年所長。二〇〇〇年、停年退官、京都大学名誉教授。花園大学客員教授、国際禅学研究所所長、龍谷大学文学部教授を経て、同大学客員教授。日本学士院会員。

〔主著〕『劉裕』（人物往来社。後に中公文庫）、『王羲之——六朝貴族の世界——』（清水新書、清水書院。増補して岩波現代文庫。後に清水書院「新・人と歴史 拡大版」）、『侯景の乱始末記——南朝貴族社会の命運——』（中公新書。後に増補して志学社選書）、『六朝精神史研究』（同朋舎出版）、『中国古代人の夢と死』（平凡社選書）、『秦の始皇帝』（集英社。後に講談社学術文庫）、『魏晉清談集』（講談社）、『書と道教の周辺』（平凡社）、『古代中国人の不死幻想』（東方書店）、『中国人の宗教意識』（中国学芸叢書、創文社）、『読書雑誌——中国の史書と宗教をめぐる十二章——』（岩波書店）、『顔真卿伝——時事はただ天のみぞ知る——』（六朝隋唐文史哲論集Ⅰ——人・家・学術——）（いずれも法藏館 など）。

注文書	
(書店名)	
ご担当	様冊
法藏館	一一、五〇〇円＋税
吉川忠夫著	住所
六朝隋唐文史哲論集Ⅱ	お電話
宗教の諸相	お名前
ISBN978-4-8318-7741-3 C3022	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

東洋史